

HisayamaLIFE Newsletter

公益社団法人 久山生活習慣病研究所

第 21 号

2026年5月20日発行

ごあいさつ

当法人は2005年の設立以来、2013年に福岡県より公益法人の認定を受け、今日まで着実な歩みを続けてまいりました。公益事業の柱として、九州大学と福岡県久山町が協働で取り組む町の健診事業と疫学研究（久山町研究）、ならびに九州大学による臨床研究の支援・推進を軸に活動しております。

1961年に産声を上げた久山町における健診事業と疫学研究は、町民の皆様のみならず、わが国における生活習慣病の予防に多大な貢献を果たしてきた歴史あるプロジェクトです。当法人は、この取り組みに関わるさまざまな組織の橋渡し役として、その運営の円滑化に寄与してまいりました。あわせて、九州大学病院とその関連医療機関が共同でおこなう脳卒中、腎疾患、糖尿病の大規模臨床研究の立ち上げとその発展にも尽力してまいりました。さらに、これら疫学・臨床研究に民間企業を交えた共同研究を推進することで、学術研究の財政基盤を強固にし、その成果を広く社会に還元・実装してきた実績も有しています。

私たちはこれからも、日本人の生活習慣病の発症・重症化予防の確かなエビデンス（科学的根拠）を創出する取り組みを通じ、国民の健康増進と健康寿命の延伸に寄与すべく、一層の努力を重ねてまいります。今後とも、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

代表理事 清原 裕



トピックス

ひさやま健診と久山町研究の取り組みがメディアで紹介されました

2025年7月、ひさやま健診および久山町研究の取り組みが、海外向け放送を行う NHKワールドジャパン の医療番組「Medical Frontiers」で紹介されました。本番組では、継続的な健診および疫学研究を通じた認知症や生活習慣病の予防・早期発見に向けた取り組みが取り上げられ、地域密着型コホート研究の重要性とその成果が世界に向けて発信されました。

ひさやま健診および久山町研究の取り組みが国際的に認知されることは、大きな意義があると考えております。引き続き、地域住民の健康増進および科学的エビデンスの創出に向けた活動を支援してまいります。



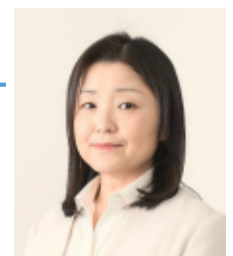
以下よりご視聴いただけます。

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/shows/2050176/>



柴田 舞欧 先生 教授ご就任おめでとうございます

長年にわたり久山町研究と久山町健診事業に従事されました柴田舞欧先生が、2026年4月1日付で、福岡歯科大学 総合医学講座 心療内科学分野の教授に就任されました。心よりお祝い申し上げます。



2025（令和7）年度の活動

久山町健診事業・久山町研究

① 健診事業

久山町の2025年度生活習慣病予防健診は、ヘルスC&Cセンターにおいて、同年7月18日から9月29日までの計29日間実施された。健診は予約制とし、問診、身体計測、血圧測定、心電図検査、診察、検尿、採血、糖負荷試験、歯科健診、眼底検査を行った。また、昨年度に引き続き運動機能評価機器「ザリツ」による立ち上がり検査も実施した。40歳以上の受診者数は2,626名であった。さらに、9月の3日間には、50～64歳の希望者69名を対象として低線量肺がんCT検診を行った。当法人は、これら久山町の健診事業と併せて、久山町研究の追跡調査を支援した。

② 腸内細菌叢と生活習慣病の関連に関する共同研究

株式会社明治、明治ホールディングス株式会社および九州大学との共同研究契約に基づき、これまで腸内細菌叢とフレイル、筋力低下に関連する研究を実施してきた。2025年9月より新たに理化学研究所 共生微生物叢研究チームが本共同研究に加わり、最先端の手法を用いた腸内細菌叢研究を開始した。2025年度は、腸内細菌叢と軽度認知障害（MCI）の関連についてさらに検討を進め、学術誌に投稿した。また、腸内細菌叢に関するショットガンメタゲノム解析データを用い、フレイルや抑うつ状態に関連する腸内細菌叢の解析も行った。当法人は、これらの研究および解析を支援した。

③ 久山町疫学研究成果のITツールを活用した社会実装および疾患予防に関する共同研究

昨年度に引き続き、DeSCヘルスケア株式会社および九州大学との共同研究において、久山町研究の成果を基に開発されたITツールを活用した疾患予防に向けた取組みを行った。なお、DeSCヘルスケア株式会社の関連会社である日本テクトシステムズ株式会社との脳MRI画像を用いた認知症発症リスク評価システムの開発については、同社の事業撤退に伴い中止となった。

④ 生活習慣病及び認知症発症に関する生活因子の検討に関する共同研究

昨年度に引き続き、九州大学等との共同研究において、血糖値と認知症、サルコペニア等の老年期疾患との関連、ならびにキノコ成分の血中濃度と認知症発症との関係について検討を行った。当法人は、これらの研究および解析を支援した。

⑤ AI脳画像解析システムによる認知症発症リスク評価の妥当性に関する共同研究

ERISA株式会社および九州大学との共同研究において、ERISAが開発したAI脳画像解析システムによる10年後の認知症発症リスク評価の妥当性に関する検討を開始した。当法人は、これらの研究および解析を支援した。

⑥ AMED 認知症研究開発事業「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究（JPSC-AD）」の支援

JPSC-ADは、全国8地域（青森県弘前市、岩手県矢巾町、石川県中島町、東京都荒川区、島根県海士町、愛媛県中山町、福岡県久山町、熊本県荒尾市）に居住する地域高齢者1万人からなる大規模認知症コホート研究を構築し、認知症の危険因子を同定することを目的としている。本プロジェクトでは、従来型のコホート研究にゲノム・オミクス研究の手法と知見を融合させることで、認知症の病態解明を目指している。当法人は、本国家プロジェクトに参加し、データベースの構築・管理・整備に関する支援活動を行った。



久山町研究室スタッフ

福岡脳卒中データベース研究 Fukuoka Stroke Registry: FSR

多施設共通データベースを用いた脳卒中に関する臨床疫学研究

急性期脳卒中患者の前向き登録研究であるFSRには、2006年7月から2019年9月末日までに17,074人の患者が登録されており、現在、九州大学病態機能内科学の脳循環研究室が中心となってデータ管理や追跡調査が継続されている。

2025年度は追跡18年目となり、当法人では、久山町研究の疫学・臨床研究のノウハウを生かしてFSRの支援を引き続き行った。



FSR 研究スタッフ

福岡県糖尿病患者データベース研究 Fukuoka Diabetes Registry: FDR

多施設共通データベースを用いた糖尿病に関する臨床疫学研究

糖尿病患者を対象としたコホート研究であるFDRには、九州大学病院および関連する糖尿病が専門の医療機関（計16施設）に通院中の糖尿病患者5,131人が登録されている。2008年からの登録期間中に、食事、運動、メンタルヘルスを含む臨床情報ならびに血液、尿、DNAを収集し、コホート集団として現在まで18年間にわたり追跡調査を継続している。当法人は、2025年度も前年度に引き続き、九州大学病院および関連施設と緊密に連携して構築した研究体制のもと、対象者の追跡調査を継続的に支援した。

福岡腎臓病データベース研究 Fukuoka Kidney disease Registry: FKR

① 新規腎生検症例登録による腎生検コホート（FRBR）

九州大学病院および研究参加施設における新規腎生検症例のデータベースへの登録は2019年1月末に完了し、その総数は310人であった。2025年度も登録された症例の追跡調査作業の支援を行った。

② 保存期CKD症例登録による前向きコホート（保存期FKR）

2012年から2017年に4,476人の保存期慢性腎臓病（CKD）患者を登録した。2025年度も前年に引き続いてデータベース化に関わる作業の支援を行った。

③ 既存腎生検症例による後ろ向きコホート

九州大学病院と関連施設において1995年から2015年の間に生検により組織診断された腎疾患患者のうち、これまでIgA腎症1,500例、糖尿病腎症113例、巣状糸球体硬化症253例をFKRに登録した。2025年度もこれら対象患者の追跡調査を前年同様に支援した。



FKR 研究スタッフ

役員

2026年5月1日現在

代表理事

清原 裕 久山町ヘルスC&Cセンター長
九州大学 名誉教授

副代表理事

西村 勝 久山町長

常務理事

二宮 利治 九州大学大学院医学研究院
衛生・公衆衛生学 教授

理事

吾郷 哲朗 九州大学大学院医学研究院
病態機能内科学 教授

飯田 三雄 九州大学 名誉教授

石橋 達朗 九州大学 総長

上野 道雄 独立行政法人国立病院機構
福岡東医療センター 名誉院長

角森 輝美 学校法人創心会 西日本看護医療大学
看護学部看護学科 公衆衛生・産業看護学
教授

北園 孝成 公立学校共済組合 九州中央病院
病院長

只松 秀喜 久山町議会 議員

貫 正義 九州電力株式会社 特別顧問

蓮澤 浩明 公益社団法人福岡県医師会 会長

監事

佐伯 久雄 公益財団法人久山健康田園都市財団
理事長

南谷 朝子 南谷朝子公認会計士税理士事務所
所長

50音順, 敬称略

ご寄付をいただきありがとうございます

2025年度は、総額 6,650,000円 の寄付を頂戴しました。この場をお借りして改めて感謝の意を表します。

個人 原 裕介 様
和田 美也 様 他 匿名 1名様

法人 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
理事長 井手 義雄 様

医療法人医心会 福岡腎臓内科クリニック
理事長 平方 秀樹 様

医療法人いわい内科クリニック
院長 岩井 啓一郎 様

他 匿名 1団体様

(順不同)

当法人は、九州大学病態機能内科学ならびに衛生・公衆衛生学を中心とした臨床研究と疫学研究の成果を活用し、生活習慣病の予防と治療法の開発を通じて国民の健康福祉の推進に貢献することを目的としています。事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄付をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

尚、当法人への寄付金は、特定公益増進法人への寄付金として、所得税・法人税の税制上の優遇措置が適用されます。

詳しくはホームページ

www.hisayamalife.or.jpをご覧ください。